

167 回目標 日商簿記1級 公開模擬試験

工業簿記・原価計算 解説講義 補助資料

クリアル講師 公認会計士 山田和宗

原価計算 第2問

(損益分岐点比率および安全余裕率は、利益ベースでも計算可能)

売上高と比例関係にある貢献利益によって、固定費を回収し、営業利益が獲得される。

↓

- ・貢献利益のうち固定費の回収に充てられる割合をもって損益分岐点比率が計算できる。

$$\text{損益分岐点比率} = \text{固定費} / \text{貢献利益}$$

- ・貢献利益のうち営業利益となった割合をもって安全余裕率が計算できる。

$$\text{安全余裕率} = \text{営業利益} / \text{貢献利益}$$

→ 経営レバレッジ係数の逆数

(補足：逆数とは)

「逆数」とは、「ある数に対して、乗じると1になる数」(1をある数で割ったもの)をいう。

分数の場合には、分母と分子を逆にした値が、元の値の逆数になる。

例①：xの逆数は「 $1/x$ 」 ← 1をxで割ったもの→ xに「 $1/x$ 」を乗じると1になる例②：「 $2/3$ 」の逆数は「 $3/2$ 」 ← 1を「 $2/3$ 」で割った(「 $3/2$ 」を乗じた)もの→ 「 $2/3$ 」に「 $3/2$ 」を乗じると1になる

例③：経営レバレッジ係数と安全余裕率は、互いに逆数

$$\frac{\text{貢献利益}}{\text{営業利益}} \times \frac{\text{営業利益}}{\text{貢献利益}} = 1$$